

# トウキョウサンショウウオ：この 10 年間の変遷 -東京都多摩地区における 2008 年度生息状況調査報告書-

草野 保<sup>\*1</sup>      川上 洋一<sup>\*2</sup>      御手洗 望<sup>\*3</sup>(編著)

トウキョウサンショウウオ研究会

2014 年 2 月

<sup>\*1</sup>192-0397 八王子市南大沢 1-1 首都大院・理工・生命科学

<sup>\*2</sup>197-0812 あきる野市平沢 473-6 トウキョウサンショウウオ研究会事務局

<sup>\*3</sup>198-0063 青梅市梅郷 5-1028-1 オウルタウン B-2

# 目次

<b>第1章</b>	<b>はじめに</b>	<b>4</b>
1.1	調査にいたるまでの経緯	4
1.2	謝辞	5
<b>第2章</b>	<b>トウキョウサンショウウオはどんな生き物？（草野 保）</b>	<b>6</b>
2.1	日本のサンショウウオ類	6
2.2	トウキョウサンショウウオとは	7
2.2.1	分類・形態・地理的分布	7
2.2.2	生活史と個体群動態	9
<b>第3章</b>	<b>調査方法（草野 保・川上洋一）</b>	<b>19</b>
3.1	調査体制	19
3.2	調査表記入項目	20
3.2.1	調査地・調査者関連	20
3.2.2	観察データ	20
3.2.3	地形・生息環境	21
3.3	調査日程	21
3.4	長期モニタリング	24
3.4.1	調査方法	24
3.4.2	調査体制	24
3.4.3	調査定点の選定	24
3.5	調査方法補足	25
<b>第4章</b>	<b>調査結果（草野 保）</b>	<b>26</b>
4.1	産卵場と周囲の環境	26
4.2	産卵場の分布と産卵卵嚢数の現状	28
4.3	産卵場繁殖集団の衰退と絶滅	30
4.4	多摩地区における総個体群サイズとその変遷	32
4.5	個体数変動の同調性	33
<b>第5章</b>	<b>各地区からの現状報告</b>	<b>36</b>
5.1	狭山地区	36
5.1.1	狭山丘陵のトウキョウサンショウウオ（原島真二・古川嘉勇）	36
5.2	青梅北地区	41
5.2.1	加治丘陵のトウキョウサンショウウオ（御手洗 望）	41
5.3	西多摩中核地区	43
5.3.1	草花丘陵（青梅市側）のトウキョウサンショウウオ（佐久間 聡・御手洗 望）	43
5.3.2	あきる野市菅生地区の現状（小澤祥司）	48

---

5.3.3	減少が著しい日の出町のトウキョウサンショウウオ（川上洋一）	51
5.3.4	あきる野市横沢入地区のトウキョウサンショウウオ（川上洋一）	53
5.3.5	八王子北西部・川口地区の状況（五味 元）	54
5.4	多摩丘陵地区	59
5.4.1	危機にある多摩丘陵のトウキョウサンショウウオ（塩谷暢生）	59
5.4.2	日野市におけるトウキョウサンショウウオの現状（土屋 学）	63
5.5	多摩地区全体のまとめ（川上洋一）	64
5.5.1	開発の波は去ったが	64
付録 A	ビオトープ・産卵場の整備について	67
A.1	ビオトープ・産卵場の整備について（土屋 学）	67
A.1.1	使う道具	67
A.1.2	事例 1	67
A.1.3	事例 2	68
A.1.4	事例 3	68
A.1.5	事例 4	69
A.1.6	水路	69
A.1.7	最後に	71
	引用及びトウキョウサンショウウオ関連文献	72